

千葉知施連ニュース 第9号

千葉県知的障害者支援施設家族会連合会 <http://c-tisiren.jp>

〒289-3186 匝瑳市川辺6166 発行日：平成27年7月1日

◇ 第10回平成27年度千葉知施連総会報告 ◇

第10回千葉知施連総会が6月21日（日）に千葉市ビジネス支援センター（きぼーる）で開催されました。（36支部72名が出席） 第I部の総会では、千葉知施連奥澤会長の挨拶の後、第1号議案、平成26年度活動報告・会計決算報告・会計監査報告の審議に入り、広報費の執行残について質問がありましたが、賛成多数で承認されました。

続いて、第2号議案、平成27年度活動方針案・会計予算案の審議に入りました。質問としては、①会員増加ための取組を充実すべきである。②共通認識を高めるため千葉知施連ニュース等広報の充実を図るべきこと。③特別会計の全国大会参加者助成費の内容について④活動計画案に組織強化・拡大を掲げることなどがありましたが、賛成多数で承認されました。

第II部では、来賓の千葉県知的障害者福祉協会佐久間智支援施設部会長の挨拶に続き、千葉県袖ヶ浦福祉センター更生園相馬伸男施設長から「袖ヶ浦福祉センターの現状と今後の方向について」講演がありました。最終報告で提言された方向性に沿って、県と連携しつつ福祉協会等の協力を得てセンターの見直し（経営体制の刷新、事業体制の見直し）に取り組むとともに、30年度以降もセンターの指定管理者として利用者本位の支援の実施をめざすとのことでした。続いて、千葉県障健康福祉部障害福祉課古屋勝史課長より「第五次千葉県障害者計画について」～障害のある人がその人らしく暮らせる社会～ の講演がありました。主要施策の方向性について、「入所施設から地域生活への移行の推進」を始めとする8つの柱と39の基本施策について、丁寧に説明をしていただきました。

平成27年度全施連総会報告

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会（全施連）の平成27年度社員総会・理事会が大阪市で開催され、1都1道19県から51名が出席しました。

◇日 時：6月9日（火）13：00～10日（水）12：00

◇会 場：大阪ガーデンパレス

◇出席都道府県：北海道 宮城 栃木 群馬 千葉 東京 神奈川 愛知 三重 岐阜 和歌山 兵庫 島根 山口 高知 福岡 熊本 大分 宮崎 鹿児島 佐賀

◇審議事項 ①26年度事業報告 会計決算報告 監査報告 ②27・28年度役員改選
③27年度事業計画案 ④会計予算案 審議の結果全て可決されました。

新役員には理事長由岐 透（兵庫） 副理事長（3名）岩本邦雄（神奈川）南 守（高知）石川 誼（北海道）の各氏が選出されました。理事は各都道府県連の代表（各1名）

◇26年度事業報告の要旨 全国大会での研修会・グループ討議・発表、理事会研修、各ブロック・県連での研修会を行ない、「65歳問題・配置医師問題」「虐待問題」「全施連提言に基づく『その人に合った終の住処』とは」などの理解を深めると共に情報の共有を図った。

◇27年度事業計画の要旨 26年度に引き続き上記の主な問題及び「意思決定支援・成年後見制度への取り組み」「差別解消法について」など総会、理事会、研修会で取り組んで行く。

◇具体的活動 全施連提言Ⅱ解説版付きの発行（プロジェクトチームで編集）議員・厚労省との意見交換会開催 全国大会 in 神奈川開催 組織の拡大 他団体との連携強化 など

～ 全施連『第11回全国大会 in 神奈川』開催のご案内 ～

平成27年度全施連全国大会が23年度千葉大会以来4年振りに関東地区で開催されることになりました。会場は横浜市となりますので千葉からも大勢の参加をお願いいたします。

◇と き：平成27年10月20日（火）・21日（水）

◇ところ：ローズホテル横浜 横浜市中区山下町77 ☎ 045-681-3311

◇大会テーマ 「知的障害のある人にとって最適な生活の場とは」

～障害の多様性さらにはライフステージに応じた生活の場を考える～

◇プログラム

【1日目・10月20日（火）】12：10～17：00

*開会式 来賓挨拶 神奈川県知事ほか *情勢報告由岐理事長 *講演「知的障害のある人にとって安心できる生活の場とは」日本障害者協議会代表 藤井克徳氏

*全員参加による意見交換・第1部〔テーマ1〕知的障害のある人たちの、障害の多様性さらにはライフステージに応じた「充実した日々の生活に必要な支援」とは、どのようにあるべきか。

《コメンテーター》北九州市大小賀教授 埼玉大宗澤准教授 近江ふるさと会飯田理事総括園長 神奈川施保連嶋田副会長 司会 南全施連副理事長

【2日目・10月21日（水）】9：00～12：00

*全員参加による意見交換・第2部〔テーマ2〕知的障害のある人たちの、障害の多様性さらにはライフステージに応じた「最適な生活の場」とは、どのようにあるべきか。

なお、詳細は「ぜんしれんホームページ」をご覧ください。

○ 県障害福祉課との懇談会開催について ○

平成27年度「県障害福祉課との懇談会」を9月上旬に開催する予定です。

懇談会での質問事項としては、総会資料にもある千葉知施連が提出した「第五次千葉県障害者計画に関するパブリックコメント」や「障害福祉をめぐる最近の動き」などに述べられている内容について幹事会で検討して県障害福祉課へ提出いたします。

開催日、質問事項などが決定次第メーリングリスト、ホームページでご案内いたします。

◎重度心身障害者（児）医療給付改善事業の現物給付化について

千葉知施連総会での県障害福祉課長の講演の中で、平成27年8月から「重度心身障害者（児）医療給付制度」が変わりますとの発表がありました。これまでの償還払方式から現物給付方式へ移行することとし、医療機関の窓口で受給券を提示することにより、受給券に記載された自己負担額のみで医療サービスを受けることができるようになります。なお、対象者、給付対象額、自己負担額、他の公費負担制度との優先関係など、助成内容は市町村によって異なりますので、詳細は各市町村の障害福祉担当課にお問い合わせください。

◇編集後記◇

一年半振りのニュースレターの発行となりました。総会では情報の迅速化・共有化など一層の取り組みを図るようにとのご意見を頂きました。今年度は3回の発行予定を掲げています。千葉知施連、全施連の大きな行事の報告をいち早くお届けするようにいたします。（広報より）